

大切な人のために流す涙は、
この世で一番あたたかい涙かもしれない

コロッケが
本名〈滝川広志〉として臨む初主演作
三世代にわたる、「見送るものたち」の誇りと絆

ゆずりは

滝川広志 柁木玲弥

原田佳奈 高林由紀子 大和田紗希 島かおり 勝部演之

原作：新谷亜貴子『ゆずりは』（銀の鈴社・刊）



監修：加門幾生 脚本：吉田 順、久保田 唱 題字：新谷碩雲

エグゼクティブプロデューサー：上野由洋 猪狩 茂 三上周治 プロデューサー：市川 篤 寺田 元 ラインプロデューサー：牧 義寛 キャスティングプロデューサー：渡辺 成
助監督：湯本信一 撮影：吉澤和晃 照明：江川 斉 録音：土屋和之 装飾：山田好男 制作担当：鈴木 勇 編集：金子尚樹 音楽：遠藤浩二 主題歌：森本ナムア「樫〜yuzuriha〜」(babycatrecords)
協力：千葉県 千葉県フィルムコミッション 千葉県八千代市 健康：八千代市商工会議所 特別協賛：安宅 協賛：全日本葬業協同組合連合会 制作プロダクション：北海道映画舎 製作：「ゆずりは」製作委員会
企画・制作：アジアピクチャーズエンタテインメント 配給：エレファントハウス/アジアピクチャーズエンタテインメント ©「ゆずりは」製作委員会

新谷亜貴子の隠れた名著『ゆずりは』
〈生と死〉に真正面から向き合い、大切な人を見送る人々を描いた心揺さぶる原作の映画化



コロッケが、本名〈滝川広志〉として臨む 初主演作。

「死」と向き合う現場で、命の尊さと大切な人への思いを描く せつなくもあたたかい涙あふれる映画の誕生

STORY

水島は、葬儀社のベテラン営業部長。彼の務める会社に茶髪でヒアスの若者・高梨が面接にやって来た。水島は周囲の反対を押し切って採用を決める。一見、軽薄に見える高梨だが、実は、御遺族にしっかり向き合い、自然体で心に寄り添う豊かな感受性の持ち主であった。妻を自殺で亡くした水島は、数多くの人の「死」を悲しむ心を押殺してきたが、高梨との出会いによって熱い心と妻への思いを取り戻していく。そんなある日、高梨がいじめを苦に自殺した故人に想いを寄せるあまり、参列者を罵倒するという騒ぎを起こしてしまう……。

誰もが避けて通ることの出来ない「死」を通して、命の尊さと大切な人を見送る思いを描いた、せつなくもあたたかい涙あふれる映画が誕生した。「ゆずりは」は、葬儀社に務めるベテラン社員と新入社員が、さまざまな葬儀の現場で出会う人々の悲しみや愛に触れながら、自身の迷いや葛藤と向き合っていく物語。「ゆずりは」は一年を通じて緑の葉を絶やさず常緑樹で、若葉が育つを見届けて古い葉が落ちるその様から、代々受け継がれていく命のバトンにも見立てられる。少子高齢化社会の到来で、誰もが自らの「死」とどう向き合うかを問われる現代。葬儀という「別れ」を介して出会う人々の心の交感、老若世代を超えた幅広い観客層の共感を呼ぶことであろう。

主人公のベテラン葬儀社員・水島に、日本を代表するエンターテイナー・コロッケが、本名の滝川広志として初主演。芸歴37年目の新境地をみせる。ある想いを胸に葬儀社で働く新入社員・高梨に、『ライチ☆光クラブ』(16)、の榎木玲弥。世代も考え方も違う二人がそれぞれに成長を遂げていく。原作は、葬儀をめぐる多彩な人間模様を描いた新谷亜貴子の同名小説(銀の鈴社・刊)。監督は、大ヒットドラマ「HERO」の加門幾生。脚本は、吉田順と企画演劇集団ボクラ団義で作・演出を務める久保田唱が共同で執筆。その他のキャストには、勝部演之(『金融腐蝕列島・呪縛』)、原田佳奈、高林由紀子、島かおりらが、ワークショップで見出された若手俳優たちと互いに刺激し合いながら、豊かな作品に仕上げている。また、本作のために書き下ろされた主題歌「襟～yuzuriha～」(babycatrecords)をR&Bシンガーソングライターの森本ナムアが透明感のある歌声で花を添えている。



「死」は「生」に一番近い存在です。「死」に触れた時ほど、「生」を感じたり思い出したりすることはありません。

毎日、消える命と生まれてくる命があります。

私たちが、そんな「繰り返される生と死」の営みの一部であり、そうした無数の命がこの地球という星を支えているのです。

誰かの命が傷つけられたり、奪われたりするニュースが多い今だからこそ、そんな思いをこの小説に託しました。

原作：新谷亜貴子



ゆずりは

「ゆずりは」2018年 / 111分 / ビスタ
配給：エレファントハウス / アジアビジュアルエンタテインメント

©「ゆずりは」製作委員会

6月16日(土)より 心揺さぶるロードショー

新宿駅東口階段下 甲州街道沿道コモショップを入ル
新宿 K's cinema
03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com
各回入替・整理券制

6/16(土)のみ10:00～初日舞台挨拶を予定 連日10:15～



東武東上線 東武線馬場駅
イオンシネマ板橋
03 (3937) 1551

6月23日(土)より公開
京王線 調布駅ストリエ京王調布C館
イオンシネマシアタス調布
042 (490) 0039